



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社Waqoo 上場取引所 東
 コード番号 4937 URL <https://waqoo.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐俣 文平
 問合せ先責任者（役職名） 管理部長（氏名） 古谷 恵輔 (TEL) 03-6805-4600
 半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	834	△10.6	△52	—	△54	—	△59	—
2024年9月期中間期	934	3.8	△87	—	△84	—	△110	—

(注) 包括利益 2025年9月期中間期 △59百万円(—%) 2024年9月期中間期 △110百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	△16.36	—
2024年9月期中間期	△33.54	—

(注) 2024年9月期中間期及び2025年9月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	3,027	2,064	67.9
2024年9月期	3,133	2,140	68.2

(参考) 自己資本 2025年9月期中間期 2,057百万円 2024年9月期 2,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,127	9.4	103	83.6	97	69.2	36	—	10.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）— 除外 一社（社名）—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期中間期	3,618,928株	2024年9月期	3,618,928株
2025年9月期中間期	19,423株	2024年9月期	23株
2025年9月期中間期	3,616,997株	2024年9月期中間期	3,308,430株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素等の要因が含まれており、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の増加やインバウンド需要の拡大等により景気は緩やかながら回復基調が継続しました。しかしながら、依然として海外情勢が不安定な中、エネルギー問題や原材料等の高騰、円安による物価上昇、更には経済環境の変化に伴う人件費の増加など企業を取り巻く環境は厳しく、先行きが不透明な状況にて推移しております。

このような状況の下、当社と子会社セルプロジャパン株式会社(以下、セルプロジャパンという。)とは、グループ一体となり企業価値の向上に向けた成長戦略を引き続き推進するとともに、各種課題解決に積極的に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間における当社グループとしての業績については、D2C事業において新規の広告投資を抑制したことで売上高は弱含んで推移したものの、メディカルサポート事業が堅調に推移したことで全社の業績を牽引し、前年同期に比して増益の結果となりました。

各セグメントの概況は、次のとおりです。

(D2C事業)

D2C事業においては、広告投資の効率性を一層重視し、選択と集中を図る戦略的なマーケティング施策を展開することで、収益性の最大化に努めてまいりました。新規顧客の獲得は当初の想定を下回ったものの、主力商品の『肌ナチュラル』及び『sodate1』では、CRM施策が奏功し、既存顧客の高い継続率を維持しており、安定した収益の確保に寄与しています。

この結果、同事業における当中間会計期間のセグメント売上高は502,999千円(前年同期比29.4%減)、セグメント利益は143,573千円(前年同期比7.0%減)となりました。

(メディカルサポート事業)

メディカルサポート事業につきましては、主力の「血液由来加工サービス」の事業において、最適な人員配置及び人員増強による営業組織体制の強化に努め、提携院との関係強化を図ってまいりました。その結果、整形外科領域並びにAGA(男性型脱毛症)治療領域における加工受託件数は、3月にサービス開始以降、過去最高の受注数実績を上げる等、確実に伸長しております。

また、原材料販売の事業においては、主としてセルプロジャパンにて既存顧客との安定した製品取引の他、OEM製品の新規受注、新規の顧客開拓に向けた諸施策にも取り組む等、堅調に推移しております。

この結果、同事業における当中間会計期間のセグメント売上高は331,854千円(前年同期比49.5%増)、セグメント損失は8,594千円(前年同期はセグメント損失41,524千円)となりました。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は834,854千円(前年同期比10.6%減)、営業損失は52,305千円(前年同期は営業損失87,063千円)、経常損失は54,568千円(前年同期は経常損失84,300千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は59,163千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失110,969千円)となりました。

なお、当社は、資本効率の向上及び経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を実施するため、2025年3月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は1,728,757千円となり、前連結会計年度末に比べ125,805千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少200,802千円、預け金の増加86,612千円によるものであります。

当中間連結会計期間末における固定資産は1,299,043千円となり、前連結会計年度末に比べ20,092千円の増加となりました。これは主に、建設仮勘定の増加85,698千円、のれんの減少61,191千円によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は571,460千円となり、前連結会計年度末に比べ26,223千円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少45,299千円、未払金の増加27,673千円、1年以内返済予定の長期借入金の減少14,752千円、買掛金の増加5,469千円によるものであります。

当中間連結会計期間末における固定負債は392,304千円となり、前連結会計年度末に比べ3,223千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少3,168千円によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は2,064,037千円となり、前連結会計年度末に比べ76,266千円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少59,163千円、自己株式の取得による減少19,831千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より200,802千円減少し、1,304,528千円(前年同期比12.7%減)となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は9,953千円(前年同期は67,490千円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失54,568千円の計上、のれん償却額61,191千円の計上によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は88,054千円(前年同期は11,505千円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出85,930千円の計上、敷金及び保証金の差入による支出3,323千円の計上があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は122,701千円(前年同期は130,401千円の増加)となりました。これは主に、長期借入れによる収入74,000千円、長期借入金の返済による支出91,920千円、自己株式取得のための預託金の増減額84,950千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月13日付の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,505,331	1,304,528
売掛金	183,576	153,914
商品及び製品	102,764	138,772
仕掛品	9,783	2,632
原材料及び貯蔵品	12,045	13,565
預け金	834	87,446
その他	40,225	27,897
流動資産合計	1,854,562	1,728,757
固定資産		
有形固定資産	120,174	200,558
無形固定資産		
のれん	1,132,047	1,070,855
その他	3,939	3,023
無形固定資産合計	1,135,987	1,073,878
投資その他の資産		
その他	23,630	25,447
貸倒引当金	△840	△840
投資その他の資産合計	22,789	24,606
固定資産合計	1,278,951	1,299,043
資産合計	3,133,514	3,027,801
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,082	35,552
短期借入金	190,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	198,371	183,619
未払金	51,105	78,778
未払法人税等	49,823	4,524
未払費用	33,941	35,801
その他	44,359	43,184
流動負債合計	597,683	571,460
固定負債		
長期借入金	395,027	391,859
リース債務	500	445
固定負債合計	395,527	392,304
負債合計	993,211	963,764

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,632	53,632
資本剰余金	2,465,482	2,465,482
利益剰余金	△382,697	△441,861
自己株式	△54	△19,886
株主資本合計	2,136,362	2,057,367
新株予約権	3,940	6,669
純資産合計	2,140,303	2,064,037
負債純資産合計	3,133,514	3,027,801

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	934,335	834,854
売上原価	210,797	177,474
売上総利益	723,538	657,380
販売費及び一般管理費	810,601	709,685
営業損失(△)	△87,063	△52,305
営業外収益		
受取利息	238	460
貸倒引当金戻入額	3,977	—
償却債権取立益	600	1,200
雑収入	159	265
営業外収益合計	4,975	1,925
営業外費用		
支払利息	2,106	3,949
雑損失	105	239
営業外費用合計	2,212	4,188
経常損失(△)	△84,300	△54,568
税金等調整前中間純損失(△)	△84,300	△54,568
法人税、住民税及び事業税	26,669	4,595
法人税等合計	26,669	4,595
中間純損失(△)	△110,969	△59,163
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△110,969	△59,163

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純損失(△)	△110,969	△59,163
中間包括利益	△110,969	△59,163
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△110,969	△59,163

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△84,300	△54,568
減価償却費	3,843	6,463
のれん償却額	30,595	61,191
株式報酬費用	2,279	2,728
貸倒引当金戻入額	△3,977	—
受取利息及び受取配当金	△238	△460
償却債権取立益	△600	△1,200
支払利息	2,106	3,949
売上債権の増減額(△は増加)	22,531	35,658
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,354	△30,377
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,471	△526
前払費用の増減額(△は増加)	△2,231	△3,090
未収入金の増減額(△は増加)	15,529	500
未払金の増減額(△は減少)	△22,489	27,673
預り金の増減額(△は減少)	△8,897	1,993
未払費用の増減額(△は減少)	4,823	1,859
未払法人税等の増減額(△は減少)	△5,817	—
未払又は未収消費税等の増減額(△は減少)	△2,621	17,959
その他の流動資産の増減額(△は増加)	—	△10,351
その他	△31,517	3,932
小計	△88,807	63,336
利息及び配当金の受取額	5	389
利息の支払額	△2,053	△3,949
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	23,364	△49,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	△67,490	9,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
償却債権の回収による収入	600	1,200
有形固定資産の取得による支出	—	△85,930
貸付けによる支出	△24,898	—
債権譲渡による収入	35,803	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△3,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,505	△88,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	—
長期借入れによる収入	200,000	74,000
長期借入金の返済による支出	△94,814	△91,920
自己株式の取得による支出	—	△19,831
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	—	△84,950
その他	5,215	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,401	△122,701
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,415	△200,802
現金及び現金同等物の期首残高	1,305,025	1,505,331
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	115,059	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,494,500	1,304,528

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	D2C事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
通販	689,623	—	689,623	—	689,623
血液加工	—	131,339	131,339	—	131,339
原料販売	—	90,629	90,629	—	90,629
その他	22,742	—	22,742	—	22,742
顧客との契約から生じる収益	712,366	221,969	934,335	—	934,335
外部顧客への売上高	712,366	221,969	934,335	—	934,335
セグメント間の内部売上高又は振替高	75	—	75	△75	—
計	712,441	221,969	934,411	△75	934,335
セグメント利益又は損失(△)	154,324	△41,524	112,799	△199,863	△87,063

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△199,863千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	D2C事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
通販	500,201	-	500,201	-	500,201
血液加工	-	153,075	153,075	-	153,075
原料販売	-	176,828	176,828	-	176,828
その他	2,798	1,950	4,749	-	4,749
顧客との契約から生じる収益	502,999	331,854	834,854	-	834,854
外部顧客への売上高	502,999	331,854	834,854	-	834,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	502,999	331,854	834,854	-	834,854
セグメント利益又は損失(△)	143,573	△8,594	134,978	△187,283	△52,305

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,283千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。